

市民公開講座

がん予防学術大会 2017 大阪

テーマ

がんにならないために、 がんになったときに知っておきたいこと

日時：平成29年6月17日(土) 15:00～17:00

場所：大阪国際がんセンター 1階 大講堂

大阪府中央区大手前3-1-69

事前申込み不要
参加費無料

先着250名
開場14:30

司会／宮代 勲

(大阪国際がんセンターがん対策センター所長 政策情報部 部長)

第一部：がんにならないために気をつけること

どんながんが増えている？ データからがんを読み解く

伊藤 ゆり

大阪国際がんセンターがん対策センター 疫学統計部 主任研究員

がんにならない、なっても早期で済ませたい／がん予防とがん検診

中山 富雄

大阪国際がんセンターがん対策センター 疫学統計部 部長

第二部：がんになったときに知っておきたいこと

がんになってからの食事と栄養

飯島 正平

大阪国際がんセンター 緩和ケアセンター長 栄養腫瘍科 主任部長

がんになってから知っておきたい制度と情報の探し方

池山 晴人

大阪国際がんセンター がん相談支援センター 副センター長

主催：がん予防学術大会 2017 大阪

共催：大阪国際がんセンター

会場へのアクセス



がん予防学術大会 2017 大阪

市民公開講座

講演者の紹介

第一部：がんにならないために気をつけること



どんながんが増えている？
データからがんを読み解く

伊藤 ゆり

大阪国際がんセンターがん対策センター
疫学統計部 主任研究員

がんに関する情報は日々のニュースやインターネット上にあふれています。日本人のがんを正しく把握した統計資料に基づいて、様々な視点でがんのデータについて読み解いていきます。どんながんがどのような年齢層に増えているのか、減っているのか、また、がんになってから、何年間フォローが必要なのかなどを紹介します。



がんにならない、
なっても早期で済ませたい
がん予防とがん検診

中山 富雄

大阪国際がんセンターがん対策センター
疫学統計部 部長

がんは二人に一人がかかる時代と言われています。それではどんな人が、がんにかかりやすいのでしょうか？がんにかかりにくくなることは可能なのでしょうか？また検診を受けることは意味があるのでしょうか？テレビや週刊誌にはたくさん情報があふれていますが、今回はそれをまとめて正しい情報をお伝えしたいと思います。

第二部：がんになったときに知っておきたいこと

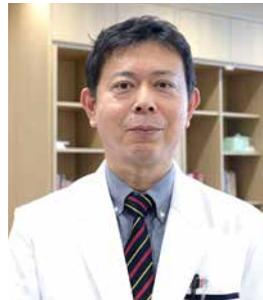


がんになってからの
食事と栄養

飯島 正平

大阪国際がんセンター
緩和ケアセンター長
栄養腫瘍科 主任部長

普段は空気のような存在ですが、一旦治療を受ける立場になると「健康であること」の大切さを実感するとともに、自分でできる生活改善として「食への心遣い」をお考えだと思います。そして、がん患者さんでは手術の影響や治療の副作用などで経過中の食事は大きな悩みとなることもあります。しかし、食は楽しみであり、生きる源でもあります。治療効果にも影響する栄養のことを考えてみましょう。



がんになってから
知っておきたい情報と
その探し方

池山 晴人

大阪国際がんセンター
がん相談支援センター 副センター長

ご自身が、大切なご家族が、がんの診断を受けたとき、多くの方が「頭が真っ白になって」、何をどう調べてよいか、誰にどう聞けばよいかわからなかったと回想されます。がんに向き合う大きな「力」は情報です。いのち、生活の質、お金などあなたの療養を左右することもある情報と、その探し方のエッセンスをお伝えします。



司会／宮代 勲

大阪国際がんセンター
がん対策センター所長
政策情報部 部長

